



高専通信

富山高等専門学校 vol.3

平成24年度富山高等専門学校学科生募集

中学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成24年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

■本郷キャンパス

機械システム工学科	入学定員	40名
電気制御システム工学科	入学定員	40名
物質化学工学科	入学定員	40名

■射水キャンパス

電子情報工学科	入学定員	40名
国際ビジネス学科	入学定員	40名
商船学科	入学定員	40名
・航海コース(20名) ・機関コース(20名)		

選抜方法

推薦による選抜

平成24年1月22日(日)
面接 定員の50%以内

学力検査による選抜

平成24年2月19日(日)
英語、数学、国語、理科、社会

なお、両キャンパスで取扱いが異なる部分などがありますので、入試関係情報の詳細については学生募集要項または下記でご確認下さい。

本校HP入試情報 <http://www.nc-toyama.ac.jp/>
本郷キャンパス学務課入学試験担当 電話 (076) 493-5498
射水キャンパス学生課入学試験担当 電話 (0766) 86-5145

平成23年度 後学期 授業&行事スケジュール

月	本科	専攻科	学外行事
10	・県外工場等見学 ・合同球技大会	・入学式(海事システム工学専攻)	・ロボットコンテスト(東海北陸地区大会)
11	・高専祭 ・就職ガイダンス		・ロボットコンテスト(全国大会)
12	・後期中間試験	・2011富山高専講演会	・2011富山高専講演会講演会
1	・推薦入試		
2	・学力入試	・特別研究発表会 (海事システム工学専攻を除く)	
	・学年末試験 ・卒業研究発表会(商船学科を除く)	・修了式(海事システム工学専攻を除く)	
3	・卒業研究発表会(商船学科を除く) ・卒業式(商船学科を除く)		

編集後記

高専通信第3号の編集会議は愉快なものでした。なぜ愉快であったか。それは「本校の主旨は学生である」というコンセプトを確認できたからです。そこで第3号は「学生の声や写真をもっと盛り込もう」を合い言葉に編集しました。今年は未曾有の地震があり胸を痛めましたが、未来を担う有為な若人を世に送り出すという本校の使命は、本郷であれ射水であれ、揺らぐことを知りません。今という一瞬がかけがえのない瞬間であることは、地震の教えてくれた貴重な教訓です。本誌が、保護者や教職員にとっては学生の一時一瞬の成長を喜ぶための、学生にとっては将来、学生時代をなつかしむための「アルバム」になってくれるよう希ってやみません。最後になりましたが、編集に協力してくださったすべての方々に御礼を申し上げます。発行の遅れについてはお詫びいたします。

■ご意見・ご要望をお聞かせください
本誌についてのご意見やご要望は、広報戦略室までお寄せいただくと幸いです。

広報戦略室

近藤周吾



高専通信 No.3 平成23年10月31日発行

富山高専 広報戦略室

問い合わせ先：本郷キャンパス/〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
射水キャンパス/〒933-0293 富山県射水市海老江線合1-2 TEL 0766-86-5112
<http://www.nc-toyama.ac.jp>



contents

- 02 校長・副校長あいさつ
- 03 主事あいさつ
- 04 1年生特集
入学式・合宿研修・球技大会
- 06 新任教職員紹介
- 08 留学生紹介・本校教職員受賞紹介
- 10 学生会活動(本郷キャンパス)
- 11 学生会活動(射水キャンパス)
- 12 商船学科卒業式
- 14 各種大会結果報告
- 16 学寮2011(本郷キャンパス)
- 17 学寮2011(射水キャンパス)
- 18 図書館情報センターからのお知らせ
- 20 就職・進学体験記
- 22 オープンキャンパス・公開講座
- 24 平成23年度後期授業・行事日程
編集後記



校長・副校長のあいさつ

人の心がわかる技術者を目指して



校長 米田 政明

富山工業高専と富山商船高専が高度化再編・統合して新しい高専「富山高等専門学校」が誕生して2年が経過し、第1期生は2年次に進級しています。新高専の制服も大分板につき、オーバードホールでの入学式で歌った校歌のメロディーも大分馴染んできた感があります。本郷（旧工業高専）と射水（旧商船高専）の2つのキャンパスからなる新高専は工学系4学科、人文社会系1学科、商船系1学科からなる分野多様性を持っていることが大きな特徴であり、全国の高専の中でも際立っていると言えます。そして、その分野多様性を活かしたカリキュラムを組み、混成学級を編成して他分野の基礎実験を行う「ものづくり工学基礎実験」や他者との共存・共生を認めるマインドを醸成する「技術者倫理入門」などの授業科目の充実に努めています。

本誌、「高専通信」は前号からほぼ半年が経過しての発行です。この間、3月には両キャンパスでそれぞれ卒業式・修了式があり（商船学科・海事システム工学専攻は9月）、実社会そして大学や大学院へと巣立って行きました。リーマンショックからなかなか抜け出せない経済情勢下に

あって、本校卒業生・修了生に対する求人倍率は依然として高く、高専に対する産業界の評価が定着してきていることが伺われます。卒業生・修了生の更なる活躍による好循環を期待している次第です。

そのような折、3月11日の東日本大震災が発生しました（国立高専でも、一関、仙台、福島、茨城高専などで大きな被害が出ました）。復旧・復興には多くの時間と莫大な経費がかかるでしょう。何よりも、被災地のみならず日本中の強い意志が必要です。本校においても、学生会を中心に義援金募集が行われ、多くの浄財が教職員の分と合わせて被災高専や被災学生のもとに届けられました。本校学生、教職員の皆さんの気持ちに感謝したいと思います。この気持ちが「人の心がわかる」技術者育成の基本であり、本校発展の原動力になると信じて、ご挨拶とさせていただきます。



日本復興を担うのは学生たちの力

本郷キャンパス副校長 丁子 哲治



東日本を襲った大地震、それに伴った大津波により壊滅的な災害を引き起こされました。さらに福島原発からの放射性物質の拡散により多くの住民が避難を余儀なくされています。ここで、この大震災で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災は一地域に留まらず、日本全体が未曾有の難局に陥っています。それでもわが国は、これからも技術立国として前に進んで行かなければなりません。この困難を乗り越える原動力は、課題を見つけ出し、意欲的・創造的に取り組み、その成果を社会に還元できる総合的な力を持った学生たちではないでしょうか。

日本の技術は攻めには強いが、守りに弱い。これまでも多く言われてきたことですが、備えのない技術は脆いものです。昨年、世界から喝采を受けた日本の技術に「はやぶさ」があります。何重にも備えられた技術によって宇宙の果てから帰還してきました。学習は一朝一夕に成就するものではありません。サッカーの本田圭佑選手の口癖「次のために準備します」のように、新たな仕事のためには用意周到な準備（学習）が必要です。学校では、遠い宇宙から針の穴を通すような精密な技術で「はやぶさ」を地球に帰還させるような仕事ができるように準備する時間に費やしてください。

基礎的な力と応用できる力

射水キャンパス副校長 成瀬 喜則



学生は、理論を実際に適用することを授業や実験実習を通して学んでいます。そこで学習している内容は、ともすると数百年前に確立されてしまったものです。それらを学んだだけでは研究になるわけではありませんが、決しておろそかにしてはいけないものです。時代がどのように変わろうと、基礎を固めずして、次のステップはありません。5年生で取り組む卒業研究や、専攻科の特別研究にしても、いきなり最先端の研究ができるわけではありません。まずは、過去に行われた研究をきちんと押さえないといけません。

その一方で、基礎を固めた上でそれを応用する力を身につけることも必要です。最近流行している情報機器をテーマにして研究を行っている研究室もあり、興味深いテーマに果敢に挑戦しています。国内外には研究成果を発表できる場がたくさんあります。本校の学生もそこで堂々と発表してほしいと思っています。

将来、エンジニア、ビジネスパーソンとして社会で活躍するためには、基礎的な知識を十分に蓄えながら、未知の分野にも挑戦しようという気持ちを持ち続けることが必要です。基礎的な力と応用できる力を身につけることができるのが高専だと思っています。そのために、大きな夢と到達可能な目標を設定できる能力、目標達成するために必要なことを見極める力を養ってほしいと思います。

富山高専では、地域や社会の多様なニーズに応え、高専生以外の方々にも学びの場を提供しています。小・中学生から、定年退職された方まで、こうした講座の存在を広く知っていただき、積極的にご参加いただければと思います。

	講座名	実施時期	受講対象
1	第1回循環型社会講座～廃石膏ボードリサイクルの科学と技術～	8月26日・27日	全国の（建設）廃棄物リサイクル従事者
2	化学実験：染色と繊維の種類	7月28日	中学生
3	ふしぎな染色とユキの種類	7月29日	小学5・6年生
4	技のしくみと力学	8月16日～18日	中学生
5	ミニ化学者になろう！	8月4日	小学4～6年生
6	化学であそぼう	8月5日	小学1～3年生
7	富山高専 化学実験	7月30日	小学生
8	エネルギーについて考えよう！	7月24日	小中学生
9	原子力発電の仕組みと霧箱製作	10月15日	中学生
10	親子のための演劇コミュニケーション入門	9月23日	小学生・中学生 および保護者
11	国語の教科書を読みなおす～「走れメロス」は盗作か？～	7月2日・9日	高校生以上
12	いきいき人生のための運動実践	6月25日 7月23日	県内中高齢者
13	とやまのくすり産業	7月2日	高校生以上

共催事業

講座の名称	実施時期	受講対象
国立立山青少年自然の家（チャレンジ&チェンジ！真夏のアドベンチャー2011）	8月5日	小学5年生 ～中学3年生

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により

被災した高専等への義援金について（報告）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により、被災された本校関係者及び他高専関係者の皆様を支援するため、義援金を募ることとなり、ご協力をお願いいたしましたところ、学生、保護者、卒業生、後援会等、教職員及び外国の協定校等から心温まる義援金をいただき、誠にありがとうございました。

皆様からお預かりいたしました義援金の総額は4,471,373円（預金利息42円を含む）となりました。そのうちのおおよそ7割の3,139,693円（振込手数料1,680円別）を、被災された高等専門学校及びその関係者の皆様への支援として国立高等専門学校機構の義援金口座に送金いたしました。

また、被災された本校関係者には、義援金総額のおおよそ3割の1,330,000円と国立高等専門学校機構が募集していた義援金から300,000円が本校関係者に配分されましたので、それらを合わせて平成23年5月31日に目録とともに贈呈いたしました。

ここにご報告いたします。

オープンキャンパス・公開講座

中学生を対象にした夏季オープンキャンパスには人気講座がたくさんあります。オープンキャンパスに参加して、富山高専に入学したという先輩も少なくありません。皆さんもオープンキャンパスに参加してみませんか。

本郷キャンパス

	講座名	実施時期	受講対象
公開講座	1 『体験!! 3次元CAD (キャド)』 ~コンピュータでのものづくり~	7月25日・26日	中学生
	2 『電子顕微鏡でミクロの世界を見てみよう』	7月25日・26日	中学生
	3 『電気をみる』 ~オシロスコープでおもしろ実験~	7月25日・26日	中学生
	4 『電子温度計を作ろう』	7月25日・26日	中学生
	5 『微生物を化学のチカラで閉じ込めろ!』 ~コウボ菌のカプセルをつくる~	7月25日・26日	中学生
	6 『虹色チタンを作ろう』	7月25日・26日	中学生

射水キャンパス

	講座名	実施時期	受講対象
公開講座	1 「若潮丸」の航海体験講座	7月27日・28日・29日	小学生・中学生及び保護者
	2 コンピュータを組み立てよう	8月2日	中学生
	3 夏季オープンキャンパス 自分の声を目で見てみよう	7月27日	中学生
	4 ロボットの頭脳とは ~LEGOを使ったプログラミング実験~	7月27日・28日・29日	中学生
	5 はじめての電子工作	7月27日・28日・29日	中学生
	6 ネットワークで遠隔操作しよう	7月28日・29日	中学生
	7 異文化について学ぼう	7月27日・28日・29日	中学生
	8 モーターボート体験講座	7月27日・28日・29日	中学生
	9 国語の教科書を読みなおす ~「走れメロス」は盗作か?~	7月27日	中学生
	10 English at Kosen (高専で英会話)	7月27日	中学生
	11 Let's speak English at Kosen (高専で英会話をしましょう)	7月28日	中学生
	12 Enjoy English! (留学と多読活動)	7月29日	中学生

6主事のあいさつ

社会人基礎力

本郷キャンパス教務主事 本江 哲行



富山高専では、持続的社會を担い地域のリーダーとなる技術者とビジネスパーソンを育成することに取り組んでいます。日本国内において、就職難だと言われていますが、富山高専では、求人倍率が20倍を超えています。しかし、現在、学校から推薦しても採用試験で不合格になる学生が増えています。その学生は、決して成績が悪いわけではありません。何が足りないのでしょうか?いま、学生に不足しているのは、社会人基礎力であると言われています。

社会人基礎力に関しては、複数の省庁から定義されていますが、企業の立場に近い経済産業では、前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力)、考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力)、チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力)と定義しています。皆さんは、どのようにこの力を付けますか?

富山高専では、従来型の講義の良い点を活かしながら、社会人基礎力が身につくための授業も実施しています。学生の皆さんは、学びの主役は自分であると自覚して授業に取り組んでください。

あなたの夢は何ですか?

本郷キャンパス学生主事 川淵 浩之



私の担当は、学生の厚生補導に関することです。(厚生:健康で豊かな学生生活を送れるようにすること。補導:正しい方向に導くこと。青少年の非行を防ぐ目的で進むべき道を教えること。)学生の皆さんが安全に安心して学校生活を送れるようにするために規則やルールがあります。その規則やルールを破ると厳しく処分されることとなります。充分注意して下さい。

話しは変わりますが、今春、第83回選抜高校野球が開催されました。その緊張する開会式で、岡山県の創志学園高校・野山慎介主将が選手宣誓を行いました。「東日本大震災で貴い命が奪われた悲しみ」、「人は仲間に支えられて大きな困難を乗り越えることができること」、「がんばろう日本、生かされている命に感謝」など、2分足らずの選手宣誓でしたが、本当に感動して涙が出ました。若い野山主将から元氣や勇気をもらいました。まだまだ若者達もやるじゃないかと素直に思いました。

未来を背負う若者達が、自分の夢の実現に、迷いながらも、ただひた向きに一生懸命取り組む姿は、本当にすばらしい。本校においても、当然、学生諸君を保護者の皆さんと一緒に教職員一丸となって応援します。ですから、学生諸君にお願いです。まず夢を持ちましょう。そしてコツコツ努力して下さい。それと共に、自分のペースで構いません。心と身体と頭を鍛えましょう。苦しんだ分だけ、笑顔が増えます。Keep on smiling!

学生と生徒

本郷キャンパス寮務主事 安田 賢生



本郷キャンパス仰岳寮(ぎょうがくりょう)には、今年、新入寮生として1年生29名、留学生4名の合計33名が入寮し、総勢155名(女子学生は22名)の「学生」が生活しています。

さて、上の文で「学生」と記しましたが、学生とはどういう意味を持つのでしょうか。校長先生の入学式の式辞において、「あなた方は高専に入学したので生徒ではなく学生と呼ばれる」旨のお話があったと思います。しかし、残念ながら学生の会話を聞いていると、自分のことを「生徒」と呼んでいる学生が大半です。さらには大学生の年齢であるはずの4、5年生や専攻科生までも自身のことを「生徒」と呼んでいる始末です。

学生とは、高専・大学等の高等教育機関で学ぶ者、言い換えれば「学業を修める者、自主的に勉強する者」ということです。また、生徒とは、中学・高校で学ぶ者、「教師から教育を受ける者」ということです。すなわち、学生と生徒の違いは、勉強に対して能動的であるか、受動的であるかという学びへの姿勢の差です。

高等教育機関の一つである高専にふさわしい「学生」という自覚を持った学生が増えることを切に望んでいます。これがひいては寮規律・寮生活の改善に繋がっていくものと思います。

人との絆を紡ぐ言葉

射水キャンパス教務主事 遠藤 真



3月に東日本大震災があり、現在、復興に向けた歩みが進められています。大震災直後の被災者の方々の言葉に感心しました。救急隊、支援者の方々の感謝のこぼれ「ありがとうございます」、依頼のこぼれ「おねがいします」などです。被災した状況を考えると、いつもの日常のような会話はできないはずなのに、被災者の方々は明確に、ていねいに感謝や依頼の気持ちをこぼれに伝えていました。日頃から使っていた言葉であり、集落やコミュニティの中で、いつも助け合って暮らしていたことが推察されます。

iPhoneで音楽を聴きながらのあいさつなど、人との交わりをなおざりにしている私達が、同じ極限状況におかれた時、感謝の言葉を明確に、ていねいに言えるでしょうか?大震災は「人は一人では生きていけないこと。」「人との絆が大切であること。」を教えてくれました。人との絆はある日突然生まれるものではなく、日頃のあいさつ、感謝などの言葉を明確に、ていねいに伝えることから始まり、培われるものと考えます。大震災を忘れないとともに、大震災が教えてくれたこの貴重な教訓を実行しなければなりません。

目先の千円札を拾うな

射水キャンパス学生主事 水谷 淳之介



私が本校の学生だった5年間、ずっと留岡正先生に担任をしていただきました。先生の口癖は「学生はムダなことに真剣に打ち込めるからいいんや」で、当時我々はその言葉の意味が理解できず、せいぜい遊び呆ける免罪符にしていました。しかし先生の情熱なので、学年が進むにつれ、何かに打ち込むという声がかけてきました。年間150日以上も山に登っている山岳野郎、暇さえあれば本を読んでいる本の虫、スクラムでいつも耳が切れかかっているラグーマンなど、私のまわりは「すごいなこいつ」と一目も二目も置くような連中ばかりになりました。私は剣道部の稽古がきつくて毎日「もうやめよう」と思っていました。やめる度胸もなく卒業まで続けました。その後、現在まで30年以上剣道を続けていますが、当時の鬼のような稽古は二度とできません。今にして思えば、一銭にもならないことにひたすら打ち込んだことは、留岡先生の言う学生時代だからこそできたことであり、それが自分のかけがえのない肥やしになったと思っています。

大学受験の無い自由に使える高専の5年間を、本当に真剣に考えて自分に投資しなければ、高専に入学した甲斐がないのではないのでしょうか。卒業したら二度と得ることができない、このムダに没頭できる貴重な時間を、時給千円のアルバイトと引き替えにするのはあまりにももったいない。

勉強ができる寮

射水キャンパス寮務主事 水本 巖



学生が勉強することは、当たり前だと考えております。今年度から、新しく寮務主事になったことも踏まえ、勉強できる寮の環境づくりを目指しています。

まず、①実質的な勉強する時間帯があること(学習コア時間の設定を行いました)、②勉強する課題:目的があること(毎年就職試験が厳しくなっている現状の認識、船舶職員になるには海技士資格が無いと話にならないこと認識)、③和海寮が一丸となって頑張ること(学寮会を通して、勉強する雰囲気づくり)の3本柱を意識しています。

現に5年生を見ていますと、進路を決める厳しさを目の当たりにします。この現実を是非、低学年の諸君にも理解してもらい、将来寮生が後悔することがないように、努力する所存です。日々生活する寮での「今が大切」です。

1年生特集

新生を迎えて

本郷キャンパス 1年生 学年主任 松井 紳一郎



人は、自分に与えられた幾多の環境変化を乗り越えながら成長して行くものである。生徒ではなく、学生として始まる本校の生活スタイルにうまくとけ込んで欲しいと思いながら、私は今年も入学式に出席していた。自分の呼名に対し、返事の小さい学生には少し心配したが、授業に出て払拭された。

担当する体育授業では、一人ひとりの身体の動向がよく見える。顔の向き、目の動き、行動の遅速、他人への気づかいなどは日毎に変化が見られた。

富山高専に入学して

電気制御システム工学科 1年 大割 拓末



私たち1年生は、富山高専に入学して早、3ヶ月となります。入学してしばらくはクラスメート同士あまりしゃべることはありませんでしたが、今ではお互いに励ましあいながら日々を過ごしています。

さて、私はこの高専に入学してから2つ変化したことに気づきました。それを今から紹介します。

1つ目は、やはり授業の内容の濃さです。中学生の時と大きく違って、教科書の内容はより専門的になっていて難しくなっています。また、授業がどんどん進むので自発的に予習、復習することが大切なことに気づきました。

能登宿泊学習

物質化学工学科 1年 栗原 静佳



能登へは中学の時にも行ったことがあったけど、高専生になってから行くと、その時とは少し違った感じがしました。母校の中学校の1年生も来ていたので、自分の時を思い出して懐かしかったです。

体育館でのビーチバレーはとても白熱しましたが、相手のチームが強い人が多くてきつかったけど、点を入れることができた時は、達成感がありました。

レクリエーションではイントロクイズのメンバーになりました。自信があったけど、聞いたことのない曲が多くて、得点をほとんど他のチームにとられたので悔しかったです。

球技大会に参加して

機械システム工学科 1年 石黒 祥平



今回の球技大会は僕たち1年生にとって、高専での初めての球技大会でした。運動会の代わりにあるくらいだからとても楽しいんだと僕はすごく期待していました。1MでオリジナルTシャツも作り、やる気も気合も十分でした。

当日になると先輩方の服装に驚きました。どのクラスもオリジナルTシャツを着たり、中には仮面をかぶっているクラスもあり、これが高専の球技大会なのかと感動しました。試合になると、歳なんて関係ないくらいの学年もとても熱く真剣に、また、楽しく取り組んでいました。いろいろな競技を見て回りましたが、グラウンド、第一体育館、第二体育館など、どの場所の競技も楽しんでいない人

とりわけ、5月に実施された2企画には意義があった。一年生全員で出かけた合宿研修では、寝食を共にして共同で企画に取り組んだ。キャンパス内の球技大会では1つのポールを共に追いかけることで信頼関係が生まれた。学生達がクラスの一員として新しい環境の変化に順応して行く姿を、私は頼もしく感じ、また安堵しながら見守っている今日この頃である。学年が進むにつれ、新たな課題に遭遇すると思うが、その都度うまく乗り越え、5年後には大きく成長して本校を巣立って欲しいと願っている。

2つ目は、企業について考える機会が増えたことです。入学してから3日後に、第1回目の「ものづくり基礎工学実験」という授業で企業についての説明を受けました。企業はどのような人を求めているのかが分かったので、これからもそれに気をつけながら生活していきたいと感じました。また、授業では実験を通して、時間内で目標を達成することの重要さ、PDCAを守ること、グループの人と仕事を分担することの大切さを学び取りました。

私たちはこの高専で5年間学び続けなければなりません。私たちはもう学生なので受動的でなく能動的に行動しなければなりません。このことを意識して日々精進し、魅力ある高専生になっていきたいと思っています。

射水キャンパスの人とも交流を深めることができました。射水キャンパスの人はテンションが高い人が多くて、クラス紹介などかっこよくて心に残りました。この宿泊学習までは射水キャンパスのことをあまりよくわかっていなかったけど、本郷とは違った楽しさがあるのだなと思いました。またこういった交流の機会があれば嬉しいです。

二日目に行った千里浜ドライブウェイでは、海を間近で見ることができました。迫力があり、何枚も写真を撮ってしまいました。

心に残ったこと全部を書ききれない程の思い出ができて、自分が少し成長できたと感じる宿泊学習でした。

なんてないくらいみんながさわいで楽しんでいました。球技大会最後の種目は学科対抗リレーでした。この競技は球技ではないのですが毎年恒例だそうで、とても盛り上がり聞いていました。クラスの代表の人たちが全力疾走しているのを見ていと思う声を出して応援してしまいました。すごく盛り上がりました。

高専での初めての球技大会は期待していた以上に楽しかったです。色々と思いつきに残る1日になりました。来年の球技大会が待ち遠しいです。



射水キャンパス

自分と向き合った就職活動

商船学科 機関コース5年 道淵 卓弥

私は来年の10月から第一に志望していた船会社で働きます。船会社への就職を希望していた私は、4年生の夏休みにこの会社のインターンシップに参加しました。それまで船会社に対して漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、講義や作業現場を見学させて頂き、自分なりの船会社のイメージをつかむことができました。また、社員の方々がこの会社で働いているプライドと達成感を持っておられたことが印象的でした。

その後も他の会社説明会に参加しましたが、秋にこの会社の会社訪問に参加し、改めてこの会社に入りたい思いが強くなりました。履歴書を書くため、友達に自分の長所・短所を聞いたり、就活ノートを読み返したりして書きたいことをまとめました。また、教官方に協力してもらい、春休みに面接練習をして頂きました。本番ではインターンシップと会社訪問で得たことや、部活動で培った最後まで諦めない精神をアピールし、無事に内定を頂くことができました。

私の就活は決して自分の力だけでなく、友達や教官方の支えがあった成功であり、自分と向き合う良い機会だったと思います。これから就活・進学を目指す方には最後まで諦めず希望する進路に進めるように頑張ってください。

進学

電子制御工学科5年 谷道 篤



私は2011年6月に学力入試を受け、信州大学工学部の環境機能工学科への進学が決定しました。試験は数学の学力試験で、微分積分や線形代数が出題範囲でした。試験に出た問題は3年や4年で学習した範囲だったので、早くから勉強に取り組むことができ、十分な準備ができたので、合格することができました。

信州大学に進学を希望したのは、将来、環境・エネルギー問題の解決を目指した研究にたずさわりたいと考え、そのために必要な専門的知識を身につけたいと考えたからです。また、信州大学は大学院進学率が高く、かねてより大学院進学を考えていた私にとっては魅力的だったからです。

私が大学編入を考え始めたのは、3年の夏休みを終えた後でした。その頃の私は、クラスでの順位も下から数えたほうが早く、学校の推薦をもらえないほどの成績でした。しかし、大学進学を視野に入れてからは、勉強に励み、無事に大学への進学が決まりました。決して賢いわけではない私も十分に準備し、勉強すれば大学へ進学することができたので、大学編入を考えている人は早くから志望校を決めて、大学編入の準備を早めることが合格の秘訣だと思います。

自己分析の大切さを知った就職活動

情報工学科5年 中沖 夏葉



私が就活を始めたのは4年生の12月に入ってからです。プログラミングが好きだからソフト系の会社に入社してSEになりたいという漠然とした思いだけで就活を始めました。

説明会に何度も行くうちに、一口にソフトウェア開発と言っても様々な企業があることに気づきました。企業それぞれに強みがあり、「SEになりた

い」というぼんやりとした目標ではダメだと気づきました。自己分析を重ね、自分は何故その企業に入社したいと思ったのか、そもそも何故SEになりたいのか真剣に考えるようになりました。自己を分析してノートにまとめ、何度も推敲しました。「就活とは自分探しである」という言葉を聞いたことがあります、まさにその通りです。自己分析をすることはエントリーシートや面接の対策にもつながります。教官方にもお忙しい中何度もお世話になり、おかげで4月の終わりに第一希望の会社に内々定を頂きました。これ程自分と真剣に向き合ったのは初めてでした。そして、その真剣な自分への問いかけが、未来へつながっていくのだと思いました。

充実した高専生活を送ることの大切さ

国際流通学科5年 畑尻 あずみ



私は高専入学時から卒業後は就職すると決めており、本格的に動き出したのは4年生の冬からです。最初は、興味をもった企業には業界関係なくひたすらエントリーし続けるだけで、時間がある限り説明会にも多く参加しました。いざ採用試験が始まり、何社もの選考を受け4月初旬に一つの商社から内定を頂きましたが、どうしても旅行業界で働きたいという夢を捨て切れず就職活動を続行し、5月中旬ようやく第一志望の旅行会社から内々定を頂くことができました。

就職活動で大事なものは、今しかないこの学生時代をいかに充実させるかということだと思います。面接の場では自分を演じることはできないので自分が今までしてきたことで勝負しなければなりません。何か一つでも自信を持って「学生時代にこれを頑張った」と言えるものがあれば、それは自然に自信へと繋がります。その生活の中で何か目標を定めることも大事です。私は10年間続けてきたバレーボールと得意科目の韓国語を武器にしました。そして、この会社で働きたいという強い熱意を示せば、きっと相手にも届くことでしょう。選考結果で一喜一憂した就職活動期間は自分の人生を見つめ直すかけがえのない時間となりました。心が折れそうになることもありましたが、学生時代の努力を信じれば必ず報われるでしょう。皆さんが納得のいく形で就職活動を終わられるように願っています。

準備はちゃんとして

海事システム工学専攻2年 小山 雄児

私は商船学科に在学していた頃、「水先人」という仕事に興味を持ち、水先人訓練生の試験を受けましたが、面接を甘く見ていた私はあえなく不合格。そればかりか海洋大学の入学試験も落ちてしまいました。この時、いかに「人前で自分の意見を喋る」事が大事か痛感させられることとなりました。

しかし諦めきれなかった私は、一年間の乗船実習を終えて専攻科に入り、再び水先人を目指すことにしました。専攻科から訓練生になるには、水先人としての試験も合格しなければなりません。大学院での試験も合格しなければなりません。

去年の3月、水先人の試験が行われ、今度は無事合格。大学院へ提出したTOEICのスコアシートが大学院側で紛失するというアクシデントもありながら、9月に送られてきた試験の結果は合格。合格通知を見た時には涙が出そうになりました。

後輩諸君！！就活や進学を行う時は準備を怠らないよう気をつけましょう。

就職・進学 体験記

富山高専の最大の魅力は、就職率・進学率の圧倒的な高さにあります。この不況下でも、就職率・進学率がほぼ100%というのは、驚異的です。しかし、簡単に就職・進学できるというわけではありません。社会からの信用、そして日々の努力の積み重ねの結果であるということをお忘れしないでほしいと思います。

今回は就職活動・受験勉強を乗り越えた先輩からワンポイント・アドバイスを寄稿していただきました。後輩の皆さんは、早いうちから就職・進学を意識を高めて、後に続いて行ってほしいと願っています。

本郷キャンパス

就職活動が終わって

機械工学科 金谷 拓海



私は、高専に入学したときから卒業後の進路は就職と決めていました。希望の業種は自分の中で決めていましたが、実際に就職活動を始めると、なかなか1社に絞り込む事が出来ませんでした。そんな時、先生方からのアドバイスにより自分の行きたい企業がはっきりと決まりました。いざ就活を始めて見ると、自分の意見を相手に伝えることの難しさや、自分という人間をアピールすること等、就職活動は思っていたよりも大変で、くじけそうになりました。しかし内定をもらった時は、その反面、喜びも大きく、頑張った良かったと思えました。

4月から社会人になるに当たり、不安なことや楽しみなこと等、沢山ありますが、今まで高専生活で学んだ学問を活かして様々なことにチャレンジしていきたいです。後輩の皆さんもいろいろ悩む事はあると思います。そんな時は、遠慮せずにごんごん先生方や先輩方に相談して下さい。そして決して後悔しないようによりよい就職先を見つけて下さい。

就職活動を振り返って

電気工学科 石田 徹



私は電力会社のインターンシップに参加し、就職先にも電力会社を選択しました。インターンシップでは、行きたい会社のものに参加するか、それに近い事業内容の会社に行くか、それによい経験になりました。

試験対策は、試験の直前に面接練習に力を入れるために、適性試験対策を早めの時期に取り組みました。適性試験はSPIとは限りませんが、SPIの本を買い、練習しました。また、学内の就職セミナーにも積極的に参加しました。願書の作成では、志望動機と自己PRを書くのが大変でした。各社の求める人物像は異なるので、求められる人物像に合うよう、自分が納得行くまで何度も書き直しました。面接練習は複数の先生にして頂きました。先生によって指摘のポイントが異なり、より改善できました。また、そのおかげで本番もそれほど緊張することもなく、自分の言いたいことが言え、その結果合格することができました。

私の就職活動

物質工学科 山田 祥矢



私は4年生になった頃から進路について考え、県外の大企業に就職する道を選択することにしました。先輩から4年次の夏季インターンシップに参加すると就職活動の上でとても有利になることを聞き、その時点で第一希望の企業に自ら電話してインターンシップに参加しました。インターンシップでは実際の現場に立つことで学生時代とは比べものにならない責任感や時間の大切さを肌身で感じる事ができました。また関心のあった企業のインターンシップに参加することで、本当にこの企業で働きたいのかを確かめる判断材料とすることもできました。その後に行われたインターンシップ報告会や春の工場見学にも積極的に参加、そして就職試験を受けて無事内々定を頂くことができました。就職活動を終えて感じることは、とにかく受け身ではなく能動的に早い時期から行動することが大切だということです。これから進路を考える人も就職するにしろ進学するにしろ後悔のない道を自分の力で勝ち取ってください。

進学試験を終えて

環境材料工学科 上野 樹



私は、高専入学直後から専攻科に進学しようと思っていました。その当時は、ただ単に県外に出たくない、簡単そうだからという安易な考えでした。しかし、4年生になり、進路について考え始めた時、インターンシップを経験したことがとても良い刺激になりました。それから、自分の進路を真剣に考え始め、大学や専攻科について情報収集を始めました。そして、自分が今本当にしたいこと、また、将来したいことなどを、両親や先生方と相談し、自分自身で総合的に判断した結果、専攻科受験を決めました。

受験を経験し、将来について考える時間が増え、自分の気持ちを整理することができました。明確な目標ができ、その目標を達成するために自分に足りないものは何か、また、それを得るにはどのような努力が必要なのか、ということを実際に考えるようになりました。ここがゴールではなく、これからがスタートだと思い、目標に向かって努力し続けていきたいと思っています。



入学式・合宿研修・球技大会

何をもって憶えられたいか

射水キャンパス 1年生 学年主任 北川 俊昭



ご存知「マネジメント」で有名なピーター・ドラッカーの言葉です。言い換えると、まわりの仲間や先輩後輩、大人たちに、自分はどうかを記憶にとどめておいてもらいたいかを意識しなさい、ということです。これは新1年生だけでなく、すべて学生にも問いかけたと思います。

そう言われると「とびきり優秀な成績を残したり、スポーツ選手として全国規模の大会を目指したりしないといけないか」と勘違いされそうですが、すべての学生に歴史に残るような人になれというわけではありません。

今の自分よりちょっとだけよい自分を思い浮かべながら、

日々を過ごすようにする。そうすることで、毎日の言動が自然と「なりたい自分」へと向かっていき、一年後、五年後には自分が確実に変わっていることを実感できるようになる。これが大切なのです。

毎日ではなく年に2回ぐらい、たとえば夏期休業中や冬休みの機会がよいから、「自分は何をもって憶えられたいか」、自問して欲しいものです。まずそうした意識を持ち続けることで、必ずや「よい自分」に近づくことができるはず。ドラッカーには、「人こそ、最大の資産である」という名言もあります。くれぐれも廊下をベタ足で東西に走り回ったという点だけが記憶されることのないよう、今秋の私は念じています。

富山高専に入学して

電子情報工学科 1年 太田 健斗



私はこの富山高専に入学して、とても充実した日々を送っています。その理由は2つあります。

1つ目は楽しい授業を受けることができるからです。富山高専には面白い教官が多く、授業中にもよく学生を笑わせてくださいます。また、90分授業では長い授業時間のおかげでとても濃い授業を受けることができ、県立高校の普通科では習わないような細かいことまで習うことができます。さらに、木曜日には「ものづくり基礎工学実験」という授業があります。この授業では、射水と本郷の両キャンパスの学生が協力して実験に取り

組みます。県立高校にはない専門性の高い実験を行うことができ、とても楽しいです。

2つ目はたくさんの友達ができたことです。高専に入学してから時間はそんなに経っていませんが、既にクラスのみならず友達になることができました。クラス全員が協力や団結して挑んだクラス対抗の活動では、それらを通してクラス全体の絆も深まり、居心地の良いクラスです。

高専にはクラス替えがありません。そのため、同じメンバーで5年間過ごすこととなりますが、クラスの仲間と共に、これからも楽しい高専生活を送りたいと思います。

合宿研修に参加して

国際ビジネス学科 1年 折口 美里



2日間にわたって本郷キャンパスと合同で行われた合宿研修は悪天候のため少し予定が変更されましたが、これから始まる5年間の高専生活の忘れられない大切な思い出となりました。

1日目は昼食をとったあと、キャンパス、学科関係なく決められた班でビーチボールをしました。最初はどの班も会話が少なくプレーもぎこちなかったのですが、時間がたつにつれて、声を掛け合ったり応援したりするほど打ち解け、交流を深めることができました。夜は各学科の紹介があり、ダンスや劇、お笑いなど個性豊

かなステージ発表で、楽しい時間を過ごしました。

2日目は学科対抗のレクリエーション大会が開催され、男女関係なく本気で、雑巾がけレースや大縄、イントロクイズなどに臨みました。結果は最後まで接戦となりましたが、国際ビジネス学科が優勝を勝ち取りました。この時間で「クラスの仲を深める」というこの合宿研修の目的の1つを達成することができたと思います。

今回は、交流を深めることの楽しさや、両キャンパス合同の活動の必要性を感じることができ、有意義な合宿研修となりました。またこの様な企画を楽しみにしています。

球技大会に参加して

商船学科 1年 縄井 雅英



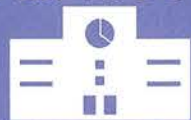
今回の球技大会は、私たちにとって初めての経験でした。雰囲気も掴めず不安も多く、また、先輩方の本気な様子に威圧され、困惑するばかりでした。しかし、一方で、そんな先輩方の様子を見て「自分達も先輩方に負けられない!」という思いが強くなり、攻めの気持ちで取り組んでいくことができました。私の出場したサッカーでは、先輩とボールを奪い合うコンタクトプレーで、圧される(おされる)ことが多かったのですが、皆で攻めて守り、助け合う気持ちを大切にして戦うことができました。女子が参加したビーチバレーなどでは、積極的に声をかけ合うことで、互いに協力してプレイすることができました。その成果が一番よ

く現れたのは、大縄跳びでした。跳ぶ人と縄を回す人の気持ちがひとつとなり、種目優勝を勝ち取りました。そして最終的に1年生は総合優勝という結果を収めることができました。これは、5月に行われた合宿研修で培った団結力が発揮された成果だと思います。

今回の球技大会は学科の枠を超えてひとりひとりの気持ちが一つになった最高の瞬間でした。



新任教職員紹介



①氏名 ②出身地 ③所属・職名 ④前職 ⑤趣味・関心事 ⑥コメント

●●本郷キャンパス●●



- ① 北村 拓也 (きたむら たくや)
② 大阪府
③ 電気制御システム工学科・助教
④ なし
⑤ ジョギング、スポーツ全般

⑥ 高専の学生は非常に真面目でわからないことがあれば積極的に質問するといった印象を持ちました。そういった面では近年の日本の大学生と比べても遥かに優秀に感じられます。さらに、社会にも通用する優秀な人材育成のために、全てを教えるのではなく、自ら考え、学び、行動するような自立した学び方を教えていくような教育を富山高専ではしていきます。



- ① 高柳真里子 (たかやなぎ まりこ)
② 富山市
③ 物質化学工学科・助教
④ 教諭
⑤ ドライブ・散策

⑥ 4月より、物質化学工学科に配属となりました。高柳真里子と申します。高専での勤務は初めてのため、幅広い年齢層や校風など慣れないことが多々あります。しかし、みなさんの様々な活動を通してたくさんの方の事を学び、富山高専の一員として頑張りたいと思います。授業や授業以外のことでも構いませんので、ぜひいろいろ語り合えましょう。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



- ① 福田 知博 (ふくだ ともひろ)
② 千葉県
③ 物質化学工学科(物質工学科)・助教
④ 九州大学大学院 工学研究院 化学工学科部門・博士研究員
⑤ 音楽鑑賞(ジャンル問わず)

⑥ 本年度より富山高専に赴任した福田と申します。富山県に住むのは初めてとなりますが、昔石川県の大学院に通っており、度々観光に訪れていました。高専については、大学時代の高専出身の友人の印象から、実践的で高い能力を持ち、発奮する学生を輩出することができる組織である、という認識を持っています。私も本校で、優れた技術者として評価されるような学生を育てていきたいと思っています。



- ① 足立 繭子 (あだち まゆこ)
② 横浜市
③ 一般教養科(国語)・准教授
④ 教諭
⑤ 美術館めぐり

⑥ 私は今回はじめて富山に来たのですが、雪を頂いた美しい山並みがどこからでも見えるのに、まず感激しました。日常の忙しさに取り紛れて、他にはない、この美しい風景のありがたみを忘れないようにしたいと思います。同様に、幅広い年齢の学生が共に学ぶ高専での5年間は、他にはない特別な

時空間であるはず。高専ならではのよさを、みなさんと共に築いてゆけたらと考えています。



- ① 高橋 春男 (たかはし はるお)
② 富山市
③ 総務課・図書係
④ 富山大学芸術学部(高岡キャンパス)
⑤ 特になし

⑥ 本年7月1日付けで総務課図書係に採用になりました高橋です。前勤務は富山大学芸術学部(高岡キャンパス)でしたが、こちら本郷キャンパスの学生は「おはようございます」と挨拶をよくされ、前職場では感じられなかった心の栄養が感じられ、きょうも1日がんばろぞ!というファイトがでます。みなさんには、利用しやすい図書館になるよう努力をしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



- ① 中島 鉄行 (なかじま てつゆき)
② 新潟県
③ 管理課長
④ 長岡技術科学大学総務部財務課副課長
⑤ ドライブ、映画鑑賞、ゴルフ

⑥ 4月1日付けで管理課長として就任いたしました。不慣れでございますが、スーパー高専発展のため全力を尽くします。お力添えを、よろしくお願い致します。



- ① 庄司 正文 (しょうじ まさふみ)
② 富山県富山市
③ 管理課・課長補佐
④ 大学職員(国立大学法人富山大学医薬系病院事務部)
⑤ 硬式テニス、フレッシュテニス

⑥ 富山高専の勤務は初めてですが、これまで富山大、富山医薬大、高岡短大で勤務した経験を活かし、富山高専の発展に貢献できるよう日々努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



- ① 藤田 一吉 (ふじた かずよし)
② 富山県高岡市
③ 管理課・課長補佐
④ 富山大学施設企画部
⑤ CD、LP等(ジャズ部門)の鑑賞

⑥ 高専は初めてのところなので、これから色々情報収集を行いますので、皆様方にはご協力のほどお願いします。



- ① 伊藤 祐輝 (いとう ゆうき)
② 香川県
③ 管理課・一般職員(役務担当)
④ 富山大学監査グループ
⑤ 時間の使い方

⑥ 家ではだらだら過ごしていることが多いので、とりあえず早起きして何か中身のあることをしたいと思っています。職場においてはまだ慣れない所もあり、ご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、何卒よろしくお願い致します。



- ① 今村康太郎 (いまむら こうたろう)
② 富山
③ 学務課・学生担当
④ 富山大学財務課契約チーム
⑤ 特にありませんが、体を動かすようにしようと思います。

⑥ 4月1日から学務課に配属になりました。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願い致します。

情報センター案内

第一プログラミング演習室のパソコンが新しくなりました(射水キャンパス)

射水キャンパスの第一プログラミング演習室のパソコンが新しくなりました。新たなパソコンはマルチコアプロセッサを搭載し、従来よりも処理性能が高く、より快適に演習を行える環境となりました。また、OSやソフトウェアのアップデートも自動で行われ、常にセキュリティが保たれた状態が確保されています。



以前のパソコン

- ・シングルコアプロセッサ
- ・メモリ 512MB
- ・WindowsXP
- ・17インチディスプレイ

新しいパソコン

- ・マルチコアプロセッサ
- ・メモリ 4096MB
- ・Windows7
- ・21インチワイドディスプレイ

ランゲージ・ラボが新設されました(射水キャンパス)

射水キャンパスに言語に関する学習を行うことを主目的としたランゲージ・ラボが新設されました。第一プログラミング演習室と同様に、処理性能が高いパソコンが用意され、インターネットを介して海外の学校等と、ビデオチャットを行うことができるほか、教師が用意した映像資料などを一斉に学生が利用しているパソコンに送信し授業を行うことができます。



※次回は本郷キャンパスの演習室を紹介いたします。

コンピュータのセキュリティを保つようにしてください

コンピュータウィルスは日々、新種が登場しています。ウィルス対策ソフトをインストールしパターンファイルを常に最新に保つだけでなくコンピュータの更新(Windowsアップデート)を忘れずに行うようにしましょう。Windowsアップデートは毎月第二火曜日に提供されます。



忘れ物に注意しましょう

プログラミング演習室での忘れ物が非常に多く見受けられます。退室する際に、各自で忘れ物が無いか確認するように心がけてください。

よくある忘れ物

- ・USBフラッシュメモリ
- ・筆記用具
- ・関数電卓
- ・イヤホン
- ・鍵
- ・教科書
- ・参考書
- ・衣類(作業着、ジャージ、帽子、マフラー等)
- ・弁当箱
- ・水筒
- ・音楽プレイヤー
- ・眼鏡

図書館情報センターからのお知らせ

図書館案内

本郷図書館のホームページと射水図書館のホームページが一つになります

それぞれのキャンパスの図書館に「緑」と「青」のインデックスを付け、簡単に切り替えができるようにします。

本郷図書館

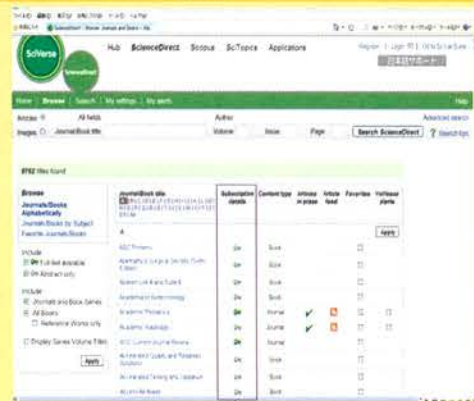


射水図書館



電子ジャーナル・データベースの紹介；第1回「ScienceDirect」

- Elsevier社が提供する科学・技術・医学・社会科学分野の電子ジャーナル約2100タイトルが利用できます。1995年からアクセス可能。
- タイトルリストや検索から論文を見つけるだけでなく、PDFの一括ダウンロード、引用文献の表示、アラートの登録など、さまざまな機能が用意されています。



右の画面「アクセス権 Subscription details」は
 購読誌 (フルテキスト利用可能・無料公開を含む)
 は非購読誌 (抄録のみ利用可能)

図書館ホームページの「電子ジャーナル・データベース」からアクセスしてください。

本郷図書館

開館時間 月曜日～金曜日 8:30から21:00まで
 土曜日 10:00から15:00まで
 試験期間中の土曜日 10:00から17:00まで
 休業期間 8:30から17:00まで

休館日 日曜日・国民の祝日
 休業期間中の土曜日および年末年始

問合せ先 総務課 図書(本郷)担当
 電話: 076-493-5407
 FAX: 076-493-5407

射水図書館

開館時間 月曜日～金曜日 9:00から19:00まで
 土曜日 13:00から17:00まで
 試験期間中の土曜日 13:00から17:00まで
 休業期間 9:00から17:00まで

休館日 日曜日・国民の祝日
 休業期間中の土曜日および年末年始

問合せ先 総務課 図書(射水)担当
 電話: 0766-86-5138
 FAX: 0766-86-5139

詳しくは、富山高等専門学校図書館情報センター URL <http://www.nc-toyama.ac.jp/center/02.html> をご覧下さい。ここから各図書館のホームページにリンクします。



- 柴田 慶之 (しばた よしゆき)
- 千葉県流山市
- 技術室・技術職員(化学系)
- なし(千葉大学 大学院融合科学研究科 ナノサイエンス専攻博士前期課程)
- 趣味: 読書および書評の投稿、作曲・編曲・楽器演奏。関心事: 安眠(寝具等)

⑥ 生まれてこの方住み続けていた千葉を離れ、富山にやって参りました。今まで学んできた専門技術や経験を、少しでも学校教育に生かせるよう精一杯努めたいと思います。業務に関しましては、皆様から教えていただくことばかりです。まだ右も左もわからない若輩者ですが、とにかく1日も早く仕事に慣れるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



- 橋本 安弘 (はしもと やすひろ)
- 富山県滑川市
- 技術室・技術職員(機械系)
- 民間企業勤務(生産技術)
- ドライブ・これから運動・健康管理!

⑥ 私は実習工場で機械実習を担当しております。学生には実際に作る喜びを安全に学んで貰いたいと思います。本校では技術的指導・研究支援に全力で取り組む所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●●射水キャンパス●●



- 勝島 隆史 (かつしま たかふみ)
- 富山県滑川市
- 商船学科航海コース・助教
- 長岡技術大学大学院 博士後期課程 環境・エネルギー工学専攻

⑤ 自然の中で遊ぶことが大好きです。特に、魚釣りを私の生涯の課題としております。自然現象の原理を考えることも大好きです。大気や海洋のように、身近でありながらも、実体としてよく分からない位に大きな動きの中に、人間の未知の領域があると感じ、心ときめかせています。海洋の流れも知りたいし、波の動きも知りたい。更には、それらをもたらす大気と海洋の関係も知りたい。真相が少しでも分かるよう、そして、分かった時の喜びを学生と共有できるようにしていきたいと思っています。

⑥ 学生に良い刺激を与えられる教員になりたいと思います。そして、学生と積極的に関わり、学生の成長の手助けができたらと考えております。よろしくお願いいたします。



- 大久保 誠 (おおくぼ まこと)
- 富山県下新川郡朝日町
- 若潮丸・一等航海士
- 日本海洋事業株式会社、三等航海士
- 海外旅行

⑥ 旧富山商船高等専門学校を4年前に卒業し、今度は教職員として本校に戻ってまいりました。一般の船会社に就職しましたので、まさか母校の教職員をすることになるとは夢にも思っていませんでしたので改めて自分の人生の面白さを痛感しております。船会社での生活や仕事内容等について詳しく教えていきたいと思っています。学生と年齢が近い分、先輩からの助言のように参考にしてもらえれば幸いです。



- 小熊 博 (おぐま ひろし)
- 富山県富山市
- 電子情報工学科・准教授
- 宮城県企画部情報産業振興室 兼 産業技術総合センター

⑤ 興味・関心事・ベガルタ仙台の戦績(サッカーJ1)一度目の昇格の際には、京都まで行きました。※カッターでなくてすみませんが…音楽(子供が吹奏楽をやっているもので)私は楽譜は読めません。

⑥ 富山高校を卒業後、東北大学工学部、東北大学大学院工学研究科、宮城県の公的試験研究機関(10年)及び行政経験(1年)を経て、本年5月に約20年ぶりに富山に戻ってまいりました。専門は無線通信ネットワーク及び組込み技術で、無線通信の国際標準規格の策定にも携わりました。富山高専への移籍が決まれば早く後に3.11の大震災が発生し市町村から提供された避難所名簿を基にしたコールセンター業務及びIT関連の企業の風評被害対策を行っていました。宮城をはじめとする被災地域への温かいご支援、心より御礼申し上げます。自分のできる無理のない範囲で東北地方を未永くサポートしながら、学生には震災で経験したこと、自分が感じたこと、時間の大切さ等を伝えていきたいと思っています。



- 柴田 淳 (しばた あつし)
- 富山県富山市
- 射水キャンパス総務課・課長補佐
- 富山大学人文系支援グループ 主査
- 旅行

⑥ 4月から、射水キャンパス総務課に勤務しています。私は、平成8年から平成12年までの5年間、旧商船高専に勤務した経験がありますので、感慨深いものがあります。統合により、組織等は大きく変わっていますが、心機一転新たな気持ちで仕事に取り組み、また、射水キャンパスならではの行事へも積極的に参加したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



- 伊藤 文 (いとう あや)
- 立山町
- 総務課
- 富山大学学術情報部図書館情報グループ
- 読書

⑥ 射水図書館には、読んでみたい本がたくさんあってとても嬉しいです。図書だけでなく、雑誌や新聞、DVDなども館内で楽しむことができます。みなさんも時間のあるときにはぜひ図書館へ立ち寄ってみてください。



- 稲垣 里衣 (いながき りえ)
- 富山市
- 管理課
- 富山大学財務部経理グループ経理チーム
- 音楽鑑賞

⑥ 前の職場は実家から1km強と近く、歩いて通っていました。こちらに来て、初めての車通勤を楽しんでいます(射水キャンパスも近いので片道15分のドライブです)。春から運動不足気味なので、今年度は何か体力づくりに挑戦したいです。身体を動かして英気を養い、元気よく働きたいと思っています。至らないところもありますが、見かけたらぜひ声をかけてください。よろしくお願い致します。



- 大井 将大 (おおい まさひろ)
- 三重県生まれ、愛知県育ち
- 学生課・一般職員
- 富山大学研究振興部研究振興グループ 事務職員
- 徘徊

⑥ 学校が変わって周辺環境等も含め様々なことが違いますし、また今まで所属どころか殆ど関わりもなかった仕事ですので、事務職という枠の中で異動しただけですが、まだ物珍しさを感じます。慣れるよう慌てず努力していきたいと思っています。

留学生紹介

3年 電気工学科 ファム・ヴァン・トゥアン



私はファム・ヴァン・トゥアンです。ベトナムから来ました。ベトナムは東南アジアにあり、面積と形は日本とほぼ一緒です。

私は子供のときから雑誌やテレビなどで日本について見聞きしており、その時から高い技術力を持つとともに高い文化レベルを持つ国だというイメージを持っていました。そして子供の時から日本へ行きたいという夢を持っていました。この夢が実現してとても嬉しく思っています。これから勉強はもちろん、さまざまな日本の文化に深く触れてみたいと思います。また多くの日本人の友人を作り、将来はさらにベトナムと日本の関係を良くしていきたいと思っています。

富山の印象は寒い所だということでしたが、実際富山に来てみるとあまり寒くありませんでした。冬になると雪が高く積もって、とても寒く生活が大変だと友人から聞いていますが、ベトナムでは雪が降らないので富山の最初の冬はとても楽しみです。またせっかく富山に住むことになったので、富山県内の観光を楽しみたいと思います。

以上、簡単ですが自己紹介です。どうぞよろしくお願いいたします。

3年 物質工学科 アランナ ファラディヤニ



はじめまして、インドネシアから来たアランナと申します。

最初に母国の紹介をします。インドネシアは東南アジアに位置し、1年中とても暑い国です。インドネシアは日本と同じく島国で大小500くらいの島があり、観光地としても人気な島がたくさんあります。

私は小さい頃から日本が好きです。毎週日曜日にいつも「ドラえもん」や「ちびまるこちゃん」などの日本アニメを見ていました。日本のアニメと漫画はインドネシアにたくさんあります。そして高校生の時、学校で6ヶ月くらい日本語の勉強をしており、その時からずっと日本に留学したいと思っていました。日本は素晴らしい国で、とても技術力が高いと思います。私は日本に来られたこと本当に嬉しく思っており、ずっとテレビでしか見られなかった日本に留学していることが今でも夢のように感じます。そして知らないうちに日本に留学して1年3ヶ月が経とうとしています。ようやく友達もできて、日本の生活に慣れてきました。日本語はまだまだ上手くないですが、ぜひ富山高専でたくさん勉強し、日本文化に触れていきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

3年 物質工学科 ムハマド ファイズ ファルハンビン モハマド シャー



私は3年物質工学科にきましたファイズです。マレーシアから来ました。日本に来る前にマレーシアでは日本語の勉強をしてきましたが、日本に来てまだ十分でないと感じているところです。なぜ日本に留学したいと思ったかというと、やはり技術力が高い国だと思ったか

らです。そして日本は山や海もとても綺麗で、おいしい食べ物がたくさんあると聞いています。これから色々な場所へ行って、色々なものを食べてみたいです。

みなさんマレーシアについて聞いたことがありますか？マレーシアは東南アジアの国で、まわりにはシンガポール、タイ、インドネシアなどがあります。マレーシアは1年中とても暑い国で、気温がほしい35℃くらいで普通だといわれています。

日本に来る前に、日本には春、夏、秋、冬の4つの季節があると聞きました。4月に日本にきましたが、日本に着いてとても驚きました。何故かと言うと、とても寒かったからで、体調を崩しそうになりました。これでは冬になると一体どうなるのか？寒さはもっと厳しいか？体調は大丈夫だろうか？とても心配になりました。夏についても、マレーシアは1年中暑いから大丈夫かと思っていましたが、先輩に聞くとマレーシアよりもっと暑いと言われました。しかし、勉強するためにどんな時でも頑張らないといけません。どうかこれからよろしくお願いたします。

3年 環境材料工学科 スリ レスタリ



私はインドネシア出身のタリと申します。インドネシアは東南アジアにある国で、気温は一年中ほぼ同じ32℃くらいです。インドネシアといえばやはりバリ島が一番思い浮かべやすいのではないかと思います。バリは海がとても綺麗で人気がある島です。毎日のように外国人の観光客がたくさん島にやってきます。このほかにもインドネシアにはロンボック島やブナケン島など自然が綺麗な観光地が多くあります。インドネシアの面積は日本の5倍で、人口は日本の2倍くらいです。イスラム教徒の人数が世界で一番多い国だと言われています。

今回日本に留学した理由は、若いうちにたくさん色々な経験をしたいということからでした。また日本は技術力の高い国だと言われており、技術的な勉強をする上でも日本への留学を希望していました。また勉強だけでなく、日本文化にも興味があり日本人の人たちとの文化交流などもしていきたいと思っています。私にとって日本に留学し異文化の人々と触れ合うことはとても良い経験になると信じています。

どうか、よろしくお願いいたします。

3年 電子制御工学科 ムハマド イリヤス ビン イスマイル



はじめまして。私はイリヤスと申します。マレーシアから参りました。日本の東北であった地震のため日本に来るのは予定より遅かったですが、無事に日本に着いてよかったです。ここに来る前、私はマレーシアのマラ工科大学の高専予備教育コースで2年間日本語や数学、物理

などを勉強しました。そして、文部科学省の試験を受けて合格し、富山高専に入りました。富山は私のいなかと同じ感じです。どうしてかと言うと、私のいなかはケダ州にあって、マレーシアで一番田んぼがたくさんある州です。しかし、富山はケダより非常に寒いです。日本に来る目的は勉強だけでなく、たくさん友達を作ったり、日本の色々な文化を学んだりもしたいです。私はある

射水 和海寮スケジュール

前期

- 4 開寮(4日)・入寮式・新入生オリエンテーション
新入生歓迎夕食会・学寮防火訓練・寮生保護者会
自転車登録点検・寮内大掃除・閉寮(28日)
- 5 開寮(8日)・関西親睦会
- 6 1年男子部屋移動・学寮会総会
学寮会長選挙・服装等校門指導・寮内大掃除
- 7 学寮花火大会・寮内大掃除・閉寮(21日)
- 8 開寮(31日)
- 9 5年生激励夕食会・全寮部屋移動
寮内大掃除・寮生保護者会

後期

- 10 志峰祭(本郷キャンパス) 仮装行列参加
寮生集会・自動車及びテレビ登録点検
- 11 志峰祭(本郷キャンパス)・学寮防災訓練
学寮球技大会
- 12 学寮クリスマス会・閉寮(21日)
- 1 開寮(9日)
- 3 1・2年(1日)、3・4年(2日) 閉寮
寮内大掃除

※美化コンクール、寮機関誌「かもめ」発行



新入寮生歓迎夕食会



学寮会長選挙



花火大会



朝の風景



選挙権訓練



学寮 2011

本郷 仰岳寮スケジュール

前期

- 4 開寮・新入生オリエンテーション
新入寮生歓迎会・寮議会・閉寮（28日）
- 5 開寮（8日）・寮生会総会
寮内球技大会（第1回）・学生寮避難訓練
- 6 町内清掃ボランティア活動
- 7 焼肉会・寮内大掃除・寮関係後援会役員会
閉寮（25日）
- 8 開寮（31日）
- 9 寮内大掃除・部屋替え

後期

- 10 相撲大会・仮装行列
- 11 志峰祭・すき焼き会
- 12 餅つき会・寮内大掃除・閉寮（21日）
- 1 開寮（9日）・成人祝賀会
球技大会（第2回）・予餞会
- 2 寮内大掃除
- 3 閉寮（2日）

新入寮生歓迎会



寮避難訓練



寮ボランティア活動



ことわざがとても好きです。それは、アラビア語で言うと「マンジャッタワジャダ」です。その意味は日本のことわざと同じように、「やればできる」です。だから、私は勉強も生活のことも頑張っています。よろしくお願いします。

3年 電子制御工学科 **ニアリー・カラケッロー**



こんにちは、私はケトと申します。ラオスから参りました。

ラオスは東南アジアに位置します。国境は北に中国、南にカンボジア、東にベトナム、西にタイ、西北にミャンマーです。ラオスの首都はヴィエンチャンと言います。ラオスには海がありません。そして、雪も降りません。

りません。そして、雪も降りません。

日本はたくさん高い建物があって、きれいな国だと思いました。日本は教育水準も高いし、経済も世界の中で2番目でした。日本の国が発展していて、技術が進んでいるから、私は日本に留学したいと思いました。日本に留学し、学んだ知識を持って国へ帰って、国を日本のように発展させたいと思います。また、高専での勉強だけでなく、日本の文化と日本の生活も知りたいです。

日本に来た時に、一番面白かったのは水族館です。その水族館は品川水族館という場所です。水族館を見た時に海の中にいるような気持ちになりました。ラオスには水族館がありません。

本校教職員受賞紹介

本校物質化学工学科 河合孝恵 准教授 が、平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞（理解増進部門）を受賞しました。

また、本校早川幸弘 技術専門員、商船学科 水谷淳之介 教授、専攻科 山本桂一郎 准教授 は、2011年度「財団法人精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞」銀賞を受賞しました。



科学技術賞（河合先生）



品質工学賞（早川先生・水谷先生・山本先生）

「宝石を用いた魅力ある教材の開発による科学技術の理解増進」の業績による平成23年度科学技術分野の**文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門)**受賞



物質化学工学科 河合 孝恵

今回の受賞のきっかけとなったのは15年前の「ダイヤモンド合成」実験との出会いでした。自らの手でダイヤモンドを合成したとき、それまでに経験したことのない大きな感動と喜びを感じました。それ以来、この感動を多くの人々に伝えたくて、ダイヤモンド破壊実験、ダイヤモンド密度体感実験、ダイヤモンド鑑定体験実験などのオリジナル実験を開発し、体験入学や公開講座、中学校の理科教員に対する講演や博物館での講演で実践してきました。

一昨年、それまでの活動を教育教員研究会で発表したところ、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。そして、これまでの実績を評価され、今回の受賞に至りました。これからも、全てのことにこだわり、さらに魅力的な実験を開発し、テクノロジーによる感動を、より多くの人々に伝えていきたいと考えています。今回の受賞にあたり、ご尽力いただいた方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

学生会活動

本校の特長の1つとして、両キャンパス学生会の自主的な活動があげられます。1年生は、学生が自ら主体的に活動する様子に驚いたのではないのでしょうか。東日本大震災では募金活動を行い、球技大会もみごと成功に導きました。射水キャンパスではカッターレース大会も開かれました。

本郷キャンパス

卒業式での募金活動

本郷キャンパス 学生会文化局副局長 機械工学科3年 高橋 玄

3月11日、あの東日本大震災があった日からもう半年余りが経過しました。しかし、あの日感じた衝撃は今でも鮮明に覚えています。

地震、津波によって壊され、瓦礫と化した町、奪われたたくさんの人の命、混乱を極める原子力発電所…。それらを報じるニュースを見ていると、悲しみとも、怒りとも違う、何とも形容できない気持ちになりました。そんなときに、仲間から一通のメールが届きました。「俺達に何かできることはないだろうか。」それがきっかけとなり、今回の募金活動が始まりました。

募金活動をするにあたって、まずは自分たちの身近なところから募金活動を始めよう、ということで、卒業式に募金活動することにしました。

卒業式の当日、「突然、募金活動などを始めて、本当にお金が集まるのだろうか」と不安な部分もありました。しかし、学生、先生、保護者の方、来賓の方、通りがかりの方々みな温かく募金に協力してくださいました。「本当はもっと入れてあげたいけど、今は持ち合わせがないから、ごめんね。」そんな保護者の方の言葉を聞き、人の心の温かさを知り、おもわず涙が出そうになりました。

半年以上が経過しても、まだまだ震災からの復興は進んでいません。今回の募金活動のような活動を、1日でも早く復興が進むように、願いを込めながら続けていきたいと思えます。



撮影：本郷キャンパス写真部

球技大会

本郷キャンパス 学生会体育局局长 物質工学科4年 山崎 元太郎

今回で12回を数える球技大会(本郷キャンパス)が5月27日に開催されました。

これまでの3年間は一学生として球技大会を楽しむ立場でしたが、今年は学生会の体育局局长として球技大会を運営する側に立ち、「学生全員が楽しめる球技大会にする」という目標の下、準備を進めました。実際に準備を始めると分からないことだらけでしたが、先生方や先輩方、執行部のメンバーの協力のおかげで何とか開催にこぎ着けました。

大会前日は雨となり、当日の天気も心配されていましたがなんとか持ち直し、無事、屋外競技を行うことができました。少し肌寒い天気でしたが、そんなものは吹き飛ばすかのように競技参加者は熱く燃えていました。昨年と同様に執行部からかき氷の模擬店を出しました。あまり気温も

上がらなかったため、例年より売れ行きは今一歩でしたが、各競技の合間にかき氷を楽しむ姿も見られました。

今回の球技大会では体育局局长として反省点も多々ありましたが、学生の皆さんには大いに楽しんでもらえたと思えます。また、競技を通して各クラスの団結を強めてもらうことができたと思います。この団結力をこれからの高専生活に活かしていってもらいたいと思えます。



撮影：本郷キャンパス写真部

バスケット
ボール部



バドミ
ントン部



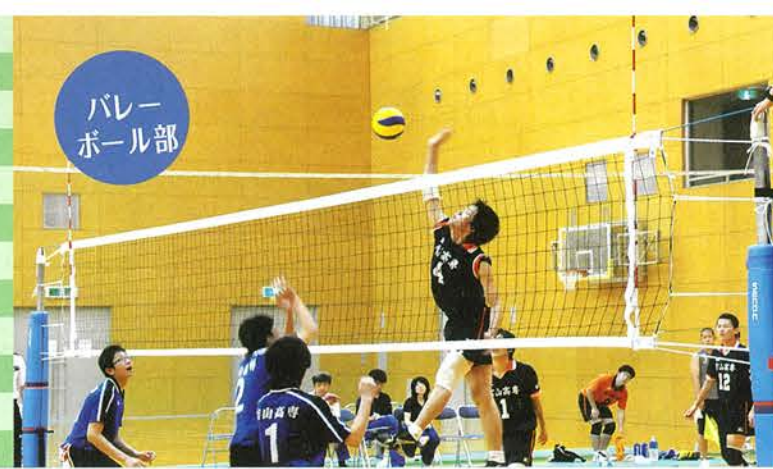
テニス部



野球部



バレー
ボール部



射水キャンパス

第46回全国高等専門学校体育大会

バドミントン

女子団体	3位		
女子ダブルス	3位	小川 梨沙	
		小川 紗貴	
女子シングルス	3位	小川 紗貴	

柔道

女子48kg級	2位	藤木 明歩
女子63kg級	3位	日下 恵利

水泳

男子800m自由形	3位	坂上 侑弥
-----------	----	-------

陸上競技

男子団体	3位		
4×400mR	3位	杉木 勇磨	
		山田 賢弥	
		*蝶 真清	
		石原 元気	
女子100m	優勝	杉本 有希	
女子走幅跳	2位	本林有美子	
男子円盤投	2位	菅澤 康平	

*本郷キャンパスの学生

第46回全国商船高等専門学校漕艇大会

ヨット

総合	3位
FJ級	3位

全国高専体育大会等 結果報告

本郷キャンパス

第46回全国高等専門学校体育大会

柔道

男子団体 3位
女子個人63kg級 2位 白川 郁子

水泳

男子水泳200m自由形 優勝 佐伯 勇弥
男子水泳400m自由形 3位 佐伯 勇弥

第18回全国高等専門学校将棋大会

将棋

女子個人戦 優勝 高村 咲也子



水泳部



柔道部



将棋部



射水キャンパス

募金活動

射水キャンパス 学生会会計 国際流通学科4年 山崎美里

東日本大震災で被害に遭われた高専やその関係者の方々のための募金活動を行った期間はわずか2週間でした。初日に集まった金額は132円ということもあり、私は本当に被災地へ送るほどの金額に到達するの不安でなりません。しかし、生協に募金箱を設置したことや学生会のメンバーが毎朝・昼に活動を行ったことで日ごとに募金額が増えていきました。中には毎日募金してくださった方、お手紙を添えてくださった方、封筒に入れなければならないほどの額を募金してくださった方など、多くの方から様々な思いを形にして受け取りました。募金していただいたお金は、アルバイト代、親から頂いたお金など、どのような

お金かわかりません。しかし、多くの方々が自分にとって大切なお金を被災された方々のために募金してくださったという行為に対して嬉しく感じ、毎日涙が出そうな思いでした。最終的には18万7,410万円が集まり、「募金する」ということは、ただ単に募金箱にお金を入れるのではなく、一人ひとりの深い思いもプラスされているということを感じることができました。募金してくださった皆様方には、ご協力いただき本当にありがとうございました。皆様の思いが被災地に届き、被災された方々が少しでも早く復興に向かわれることを願います。

球技大会

射水キャンパス 学生会長 情報工学科4年 河原未来

今回は、従来までの球技大会の内容を変更し、午前を球技大会、午後を体育大会にいたしました。私たち学生会では、従来までの球技大会で多くの学生が楽しめていなかった経験を改善してほしいという学生からの要望でそう決めました。球技大会の競技内容は、バスケットボール、サッカー、ビーチボール、

当日は、学生の協力もあって学生会の打ち合わせ通り、時間内に競技を終わらせることができました。特に、体育大会の部ではグラウンドに多くの学生が集まり、一生懸命応援している姿が印象的でした。騎馬戦で負傷者がでたのは残念でしたが、タイヤ引きでは予定になかった最下位決定戦を行うなど、学生会が予想していた以上に多くの学生が体育大会に参加し、楽しんでくれたのではないかと思います。



ドッジボールと例年通り実施し、体育大会では、大縄、騎馬戦、タイヤ引き、障害物リレー(部活動対抗)、リレー(学年対抗)と新たな内容を試みました。

準備から当日までの約1ヶ月半の間、不手際も多々あり、反省点も多かったですが、学生が球技大会・体育大会を楽しんでくれたというのは私の大きな喜びです。

競技の準備に協力してくださった皆様、学生の皆様には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

カッターレース大会

射水キャンパス 学生会副会長 国際流通学科4年 松為千紗

射水キャンパスの夏の恒例行事、カッターレース大会が開催されました。昨年は悪天候によりやむなく中止になったカッターレース大会でしたが、今年は学生たちの祈りが通じたのか、天候に恵まれ絶好のカッター日和を迎えることができました。100年近くもの伝統があるカッターレース大会は、私たち射水キャンパスの学生にとって欠かせない行事の1つです。2年ぶりだったためか、みんな例年に比べていっそう気合いが入っているようでした。1・2年生は初めての大会でしたが、上級生に負けじと一生懸命にオールを漕いで健闘していました。上級生は経験を活かして上位を目指して奮闘していました。私はK4の混合艇の一員としてレースに参加しましたが、やはり男子がほとんどの他のクラスの艇に比べて、私たちの艇は女子が多いため、決勝

まで残ることはできませんでした。しかし、クラスメイトと心をつなげてオールを漕いだので、またクラスの団結力が強まりました。来年は高専最後の年にもなるので、ぜひ私たちのクラスから決勝に進みたいと思います。



Graduation Ceremony 2011.9.21 商船学科卒業式



卒業証書・修了証書授与式

平成23年9月21日(水)、富山高等専門学校 卒業証書・修了証書授与式が射水キャンパス第二体育館において挙行されました。卒業・修了したのは商船学科の卒業生30名および専攻科海事システム工学専攻の修了生2名で、1年間の航海実習があることから他の学科よりも半年遅れての式になります。

式では、米田政明校長が一人ひとりに卒業証書・修了証書を手渡しました。校長の式辞は、商船学科の卒業式に似つかわしく、

「BON VOYAGE」(フランス語で「よい航海を」の意)という言葉でしめくられました。さらに来賓の祝辞、祝電の披露と続いた後、在校生代表 河原未来さん(情報工学科4年)が送辞で震災で卒業式ができなかった人に言及すると、卒業生・修了生代表の熊野一喜さんは「復興の原動力になる」と力強く答辞を読み上げて、送辞に答えました。

最後は出航の際の「登艦礼」(とうしょうれい)にならい、白い制服の卒業生たちが「ごきげんよう」の挨拶とともに帽子を投げて、学び舎に別れを告げました。



商船学科19期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます!!

商船学科 笹谷 敬二

商船学科19期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

2006年(平成18年)、15歳の春に希望を抱いて本校に入学され、海や船に関して4年半にわたる座学、極めて専門性の強い1年間の長期乗船実習に、地道に取り組んできた君たちが、21歳の今、勇躍、社会人として、あるいは進学の為に学舎を巣立って行かれること、心より喜び申し上げます。

北京オリンピックや尖閣諸島問題が示す中国の台頭、リーマンショックによる世界経済の変調、そして未曾有の被害をもたらした東日本大震災と、世界、日本の様相が大きく変わる中で多感な青春を過ごされた君たちが感じたことはたくさんあったと思います。

今まではご家庭の保護のもとにあった中で、これからは皆さん自身がタフな気持ちと志を持って、日々力強く過ごされんことを心より祈念いたします。

答辞(抄)

卒業生・修了生代表 熊野一喜

今から5年前の春、私たちはそれぞれに夢や期待、目標、そして、それら以上に大きな不安を抱いて本校の門をくぐりました。以来、私たちは想像していた以上に多くのことを学び、経験してきました。若潮丸実習では、時化の航海を経験しました。乗船実習では試練を乗り越え、全国の仲間との強い絆が生まれました。5年半の青春の時を過ごした富山高専を旅立ちますが、ここで授けていただいた思い出と学びと経験という名の武器を最大限に活用し、まだ先のわからない人生航路を自身の手で切り開き、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思っています。今年は東北地方太平洋沖地震があり、私たち卒業生・修了生も胸を痛めておりますが、私たちも日本の復興の原動力になれるよう努力していきます。在校生の皆さんも、自分にとって大切なものを見つけて母校を卒業してほしいと願っています。

海事システム工学専攻5期生の未来が明るいことを願っています。

海事システム工学専攻 担任 山本桂一郎

専攻科海事システム工学専攻修了生のみなさん修了おめでとうございます。無事、所定の単位を収め、大学評価・学位授与機構の審査に合格されました。8月末に結果が出るまでは、皆さんも不安だったと思いますが、専攻科での努力が報われた結果となりました。みなさんについては、本科1-2年で担任をさせてもらった背景もあり、私としても大変うれしく思っております。また、いろいろな面で叱咤激励をいただいた関係教職員の皆様のおかげであると感謝しております。2人のみのクラスということで少しさみしい面もありましたが、一方で、充実した生活を送ることがで

きたのではないかと考えております。さて、修了生は10月1日よりそれぞれの進路に進みます。7.5年もの長い間慣れ親しんだ本校を離れ、新しい所属先に移ることになります。当然、いろいろな違いに戸惑うことになると思います。しかし、苦勞をともにした寮生活や実習、さらに専攻科での研究生活で、少々のことには動じない精神力と、密度の高いカリキュラムで鍛え上げられた力を身につけています。何事にも大きく構えて、さらに成長を続けていってほしいと思っています。修了生の未来が明るいことを願っています。

本校での学生生活を振り返って

本校へ入学当初は高専というところがどういう学校でどのような勉強をしているのかよくわからなかったため不安でした。しかし、専攻科を修了して振り返ってみると、やっていくうちに好きになっていき、自ら進んで取り組めるようになっていました。高専は、一般の高校や大学と違い、実験や実習など手や体を動かす機会が多く、自分が主体となって技術を身につけられるところが長所だと思います。

一泊二日の若潮丸実習やサバイバル実習等、商船学科でしかできないようなことも多かったです。本校での4年半の席上課程を修了した後の1年間の乗船実習は、本校の入学当初と同じくらい不安でした。しかし、他の商船生とも仲良くでき、お互いに協力しながら実習に取り組むことができたので、非常に充実していました。専攻

海事システム工学専攻2年 坂本貴一

科では、ほとんど研究づけの毎日でした。本科生の時と違い、基本的にすべてを自分で進めていきました。しかし、学会発表で、社会人や他学校の先生方の前で発表することができたことは、貴重な経験となりました。

本科にしても、専攻科にしても、就職率が高く、また乗船実習といった貴重な経験もできるので、進路に悩んでいる中学生や本科生には、ぜひ後に続いてほしいと思います。

最後になりましたが、7年半を通じて、多くの先生方から熱心な指導をいただき、本当にありがとうございました。



商船学科・海事システム工学専攻生表彰者

【学業優秀賞】

航海コース 内山 拓哉
機関コース 松村 祐治
海事システム工学専攻 小山 雄児

【皆勤賞】

機関コース 脇坂 智哉

【スポーツ賞】

航海コース 和田 静

【学会等によるもの】

・全日本船舶職員協会賞
・海技教育財団 会長賞
・日本航海学会 奨学褒賞
・日本船舶海洋工学会 奨学褒賞
・日本機械学会 皇山賞
・日本マリンエンジニアリング学会 山下賞

航海コース 熊野 一喜
機関コース 稲積 駿
航海コース 品川 絢香
機関コース 五十嵐 裕亮
航海コース 横澤 靖奈
航海コース 大江 俊洋
機関コース 松村 祐治
機関コース 松村 祐治
機関コース 中島 侑哉